
福祉サービス第三者評価（保育分野）
評価結果報告書

社会福祉法人 尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園

添付書類

- 1 評価結果総括表
- 2 評価結果についての講評
- 3 評価結果
- 4 保育観察
- 5 利用者家族アンケート集計表結果
- 6 利用者家族アンケート結果(グラフ表示)
- 7 評価結果まとめ

平成31年 2月 28日

公益社団法人 けいしん神奈川

1 評価結果総括表

○評価組織

事業所	社会福祉法人 尚徳福祉会 保土ヶ谷保育園
報告書作成日	平成 31 年 2 月 28 日
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

○評価方法

自己評価方法 平成 30 年 10 月 20 日～平成 30 年 11 月 15 日	領域ごとに職員が原案をまとめ、その結果を全員で討議・まとめを行い、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 平成 30 年 12 月 18 日、19 日	評価調査員2名が現地視察と書類確認、面談でヒアリング調査(園長、主任、各保育士、調理師)を行い評価した。
利用者家族アンケート調査方法 平成 30 年 9 月 28 日～10 月 22 日	全利用者(園児)の保護者に 保育園から手渡し、評価機関が準備したアンケート回収箱(各保育室に1個)を準備し、保護者から直接投函、評価機関が直接回収する方法をとった。 対象家族96世帯、回収数83 回収率86.5%
利用者本人調査方法 平成 30 年 12 月 18 日、19 日	・観察調査は園内で実施した ・聞き取り調査は幼児を中心に、食事中、保育中を中心に実施した(0歳児から5歳児まで)

2 評価結果についての講評

施設の特徴

社会福祉法人 尚徳福祉会 保土ヶ谷保育園は昭和 25 年 9 月 1 日開所、平成 28 年 4 月 1 日横浜市より民間移管し、場所は相鉄線天王町駅から徒歩 5 分のところにあります。

鉄筋コンクリート造り 2 階建てで、園庭面積 239.7 平方メートル（児童一人当たり面積 2.0 平方メートル）、建物面積約 589.3 平方メートル（児童一人当たり面積 5.1 平方メートル）になっています。定員は 0 歳児から 5 歳児まで合計 120 名です。

保育理念として、

- 一人一人が人として大切にされる
- 将来に向けて、現在をもっともよく過ごす
- より良い環境の中で育てられる

園目標として

- 保育園がすき
- あいさつしよう
- なんでもやってみよう

保育姿勢

○子どもが安心して自分を表現できる環境を整え、さまざまな体験や人とのかかわりを大切に
する。

○保育園と家庭との連携を大切にし、伝え合い、話し合いながら、個人差をふまえた発達を保
障していく

を挙げています。

園は住宅密集地域で周りは各種商店街に囲まれています。園は柵があり、内部は雑音と安全に配慮されています。

特に優れていると思われる点

1 子ども主体を尊重した保育を実践しています

・保育指針を遵守しながら、入所児の最善の利益を最優先事項として、子どもたちの健やかな育ちを支援しています。個々が持つ個性を大切に、将来に向けて現在をもっともよく過ごし、より良い環境の中で育てられるよう最善の努力をしています。計画書、研修、会議などを基に、職員全体で「子ども主体」の保育ができるよう学び合う時間を多く取り入れています。

2 子どもが主体的に遊べる環境整備をしています

・子どもたちが自分で遊びを選び、満足がいくまで遊び込める環境を作っています。また年齢や発達にふさわしい環境構成に応じた各種工夫をしています。コーナー遊びでは独自に開発した地震でも倒れない安全な棚を使用し、子どもがそれぞれ落ち着いて遊べるようにしています。コーナーは子どもの様子や動きを見ながら入れ替え、配置換えをする工夫をしています。

・玩具や絵本は年齢や発達に応じた環境設定をしています。子どもたちが多くの遊びの中から選べるよう、成長に合わせた十分な数を準備してあります。その中から子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようにしてあります。遊びの素材についても、違った種類の小道具を準備し、子どもたちが様々な発想ができるように、また自由に制作活動ができるようにしています。

・食育にも力を入れています。幼児クラスは月に2回ほどクッキングを行なうなど食に触れ合う機会多く取り入れています。お弁当を作って散歩に行くことで食育と保育活動を組み合わせた取り組みも行っています。秋には鳥取本部から新米と稲穂を取り寄せ、米作りの一端を学びながら、おいしい新米を食べられるよう工夫しています。

3 地域支援機能を発揮しています

○地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供をしています。

・地域子育て支援事業の一環として地域の保護者や子ども等との交流を図っています。園庭解放、子ども相談、子育て支援、交流保育、プール開放、給食を食べようなどの取り組みなどを行っています。同時に参加者にはアンケートを実施してもらうことで、保育所に対する要望を把握しています。

・更に法人で研修をする際には保護者に声を掛けたり、講師を招いてリズム遊びなどにも参加要請をしています。

・関係機関として、子育て支援連絡会、要保護児童対策地域協議会他施設などとの検討会・研究会活動に積極的に参加しています。

○保育所の専門性を生かした相談機能を果たしています。

・地域の保護者や子ども等へ区の情報誌に毎月の地域交流イベントを掲載しています。また育児相談は要望があればいつでも受け付けています。地域の子育て支援施設に、園の情報を提供しています。

・必要な関係機関として、星川地区エリア別子育て支援連絡会、幼保子育て支援ほどがやセンター、地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点こっころなど地域の団体とも連携をしており、必要に応じて、関係機関とはケース会議などに担当が参加し、会議内容は職員に周知しています。

・療育センターでの保育参観や区役所等での情報収集、また療育センターより保育園にも出向いてもらい情報交換等を行っています。

特に工夫・改善が望まれる点

1 建物の老朽化、空きスペースの少なさの改善が求められます

・当園は築 60 年を超えており、建物は古く空きスペースもなく、その中で苦勞されています。廊下やクラスを行き来するなどして、子どもが遊べる空間を増やせるよう努力されています。部屋のスペースや絵本コーナーをうまく利用してできるだけ支障がないよう工夫されています。しかし全体として、子どもが一人でゆったりと過ごせる空間も少ない分、雨の日など室内での遊びが制限されてしまうようです。

2 保護者、地域との参加の一層の強化を

・保護者の園活動への積極的な参加を求めています。保育参観、保育参加の申し込みが少なく思ったほどの成果が上がっていないようです。単なる呼びかけや機械的な業務だけを行うのではなく、参加してもらうための工夫やもう少し積極的にアピールをして、参加人数を増やしていく必要があると考えられます。

また、地域との参加は、地域センターの活用などがありますがセンターは借りられる回数に限られており参加数の増加、魅力ある活動の増加を考えることが必要でしょう。更に情報がうまく多くの人に伝わらないこともあるので、情報を提供してもらえるところを増やすようにすることが求められると考えられます。

3 保育園の将来像を明確にし、職員のモチベーション向上を図ることが望めます

・園の中長期的な運営ビジョンは法人本部で策定されていますが、当園をとりまく環境、民間移管後の方向性、園舎の今後を考えると園の将来像、園の目指す方向を考えても良いのではないかと考えます。

・園の目指す方向を実現していくため、職員に望むものをあるべき姿として中長期的に目的・目標を明確することも必要となります。また、目的・目標に対する達成度に対する職員の評価も明確にすることで一層のモチベーションの向上につながるのではないかと考えます。

・そのため、目的・目標、評価方法を明確にして評価制度もできればオープンにすることで、より効率的な園の経営が図れるのではないのでしょうか。

横浜市福祉サービス第三者評価（保育分野）

評価領域Ⅰ 子ども本人の尊重

評価分類・評価項目	評価結果	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当保育所では保育理念の最初に「一人一人が大切にされる。」を掲げています。入職時のオリエンテーションや法人研修等で周知徹底しています。全職員が理念を実践に活かし、実践を通して理念を理解するよう努めています。 ・保育理念と保育所目標を基本方針としています。基本方針を事務所内、各クラス、保育所内の見やすいところに掲示しています。毎日のミーティングや月間職員会議等で禁句やヒヤリハットを検討し、子どもを尊重した保育を実践しています。 ・全体的な計画は、保育指針を遵守し入所児童の最善の利益を最優先事項としてこどもの健やかな育ちを支援することを目的に作成しています。入園説明会、重要事項説明会できめ細かく説明しています。保育所と家庭との連携を大切にし、伝えあい話し合いながら個人差を踏まえ作成しています。 ・職員会議で全職員が周知し作成をしています。毎月のクラス会議でその年度の子どもの状況に合致しているか確認をし、確認事項や課題を翌月に反映しています。 ・保育所保育方針、専門書を参考に取組んでいます。個々に合った保育が実践できるようにケース会議などで子ども一人一人の様子を職員に周知しています。 ・子ども一人一人を尊重し、発言には真摯に耳を傾けています。幼児クラスは登降時の際に、保護者に子どもが一日の些細な出来事を発言できる機会を設け、保育士の一方的な話にならないよう常に心掛けています。 ・日々の遊びや散歩、運動会やお楽しみ会といった年間行事では子どもの意見を良く聴き、意見を汲み取ることで自分に自信をもって何事にも挑戦する意欲を育てています。
<p>I-1-1(1) 保育の理念や基本方針が子ども本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当保育所では保育理念の最初に「一人一人が大切にされる。」を掲げています。入職時のオリエンテーションや法人研修等で周知徹底しています。全職員が理念を実践に活かし、実践を通して理念を理解するよう努めています。 ・保育理念と保育所目標を基本方針としています。基本方針

		<p>を事務所内、各クラス、保育所内の見やすいところに掲示しています。毎日のミーティングや月間職員会議等で禁句やヒヤリハットを検討し、子どもを尊重した保育を実践しています。</p>
<p>I-1-1(2) 全体的な計画は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的な計画は、保育指針を遵守し入所児童の最善の利益を最優先事項として子どもの健やかな育ちを支援することを目的に作成しています。入園説明会、重要事項説明会できめ細かく説明しています。保育所と家庭との連携を大切にし、伝えあい話し合いながら個人差を踏まえ作成しています。 • 職員会議で全職員が周知し作成をしています。毎月のクラス会議でその年度の子どもの状況に合致しているか確認をし、確認事項や課題を翌月に反映しています。
<p>I-1-1(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> • 保育所保育方針、専門書を参考に取組んでいます。個々に合った保育が実践できるようにケース会議などで子ども一人一人の様子を職員に周知しています。 • 子ども一人一人を尊重し、発言には真摯に耳を傾けています。幼児クラスは登降時の際に、保護者に子どもが一日の些細な出来事を発言できる機会を設け、保育士の一方的な話にならないよう常に心掛けています。 • 日々の遊びや散歩、運動会やお楽しみ会といった年間行事では子どもの意見を良く聴き、意見を汲み取ることで自分に自信をもって何事にも挑戦する意欲を育てています。

<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> • 入園前見学会を月2回実施しています。入園前説明会では子どもの健康面、アレルギーの有無、家庭環境に重点を置いて聴き取りを実施しています。保護者の不安材料は細かく記録しクラス担任に引き継ぎ、入園時には安心して来所していただけるよう努めています。説明会には子ども同伴での来所を依頼し、保護者が説明会に参加している間に保育士が子どもの遊んでいる様子を観察しています。 • 入所時には保護者に児童票を細かく記入してもらい、家族構成、健康面、発達状況を確認しながら聴き取りを実施しています。児童票及び児童票に付随する家庭調査票、入所時面接表は個人毎にファイルを作成し、全職員が全ての子どもの発達状況を把握できるようにしています。
----------------------------------	---	---

- ・入園前の見学会時にならし保育について詳細を説明しています。持っていると安心するもの、寝ている時に欠かせないものがある場合は全て受け入れ、子どもが安心して生活できるように配慮しています。
- ・毎日連絡帳を記入するとともに、保育所への登降の際には保護者から家庭での様子を聴き取り、また保育所での一日のエピソードなどを話すことで保護者の不安を解消しています。
- ・乳児が安心して生活できるように、乳児クラス 1 名は担任が持ち上がるようにしています。1 歳時クラスは入所後新入園児と進級時が別々に過ごす期間を設け、年齢に応じた保育を心掛けています。
- ・全体的な計画を基に、各クラス別の年間指導計画を 4 期に分けて作成しています。担任は期ごとに当期の自己評価と翌期の課題を記入しています。
- ・月間指導計画については、月に 1 度のクラス会議で当月の活動状況を自己評価し、園長や主任に報告するとともに意見交換を行うことで保育の質の向上を図っています。クラス会議で決まったことは翌月の活動に反映しています。
- ・指導計画には個人面談や保護者アンケートでの保護者の意見も反映させ臨機応変に対応しています。
- ・0 歳時においては子ども一人一人に寄り添い子どもの表情や仕草を受け止めながら声をかけています。子どもが居心地良く、安心・安全に過ごせるよう環境設定に配慮しています。具体的には柵で仕切ってコーナーをつくり、子どもが玩具を自由に取り出せ、自分で選んだ遊びに専念できるような環境設定を行っています。また子どもの遊びの状況に応じて玩具を入れ替える等柔軟に対応しています。
- ・個々の発達を考慮しながら様々な環境を設定し発達を促しています。こうした日々の発達記録は経過記録票に記入され全職員に情報共有され日々の保育に生かしています。保育所登降の際は家庭での様子を聴き取り、一日の出来事を細かく伝えることで保護者とのコミュニケーションを図っています。
- ・子どもの発達の微妙な変化をも逃さず、成長段階の特徴を踏まえた保育を実践しています。
- ・子ども一人一人の発達を大切にしています。散歩での探索活動を通して五感の働きを豊かにし、興味を持った玩具や絵本を使ってとことん遊ぶことができるように、また自分

		<p>のマークをわかりやすい大きさに保育室や下駄箱に貼ることで自分の持ち物が他人と区別できるよう、年齢に合わせた保育を実践しています。こうした活動は個人別の経過記録票に詳細に記入され、こうした経過記録票を基に一人一人の発達に合った環境を設定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日々の保育では、朝の受け入れの際は保護者が記入した連絡帳の内容を聴き取りその日の子どもの状況を把握し日中の保育に反映しています。保育士は友達との関わりが円滑にできるよう、子どもの年齢に合った関わりを行っています。 • 遊びや生活の中での豊かな経験を通して知識を身につけ、さまざまなことに意欲的に取り組み、試行錯誤を繰り返しながら好きなことに向かって頑張っていける力を育むために、保育士が仲立ちとなって取組のきっかけづくりをしています。行事の準備など、自由遊びの中で友達と一緒に活動する楽しみが味わえるよう素材を沢山準備しています。 • 子どもがアイデアを出し合いながら、子ども同士で協力し合って活動できるよう見守っています。ドッチボール、運動会、戸外遊び等子どもたちで自主的に進めて活動しています。 <p>子どもたちの育ちを見つめながら遊びに夢中になる環境設定や活動に力を入れています。卒園までに育てたい10の姿のどの段階にまで成長しているかを確認しながら日々の保育を実践しています。</p>
	<p>I-2-1(1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入園前見学会を月2回実施しています。入園前説明会では子どもの健康面、アレルギーの有無、家庭環境に重点を置いて聴き取りを実施しています。保護者の不安材料は細かく記録しクラス担任に引き継ぎ、入園時には安心して来所していただけるよう努めています。説明会には子ども同伴での来所を依頼し、保護者が説明会に参加している間に保育士が子どもの遊んでいる様子を観察しています。 • 入所時には保護者に児童票を細かく記入してもらい、家族構成、健康面、発達状況を確認しながら聴き取りを実施しています。児童票及び児童票に付随する家庭調査票、入所時面接表は個人毎にファイルを作成し、全職員が全ての子どもの発達状況を把握できるようにしています。

<p>I-2-(2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の見学会時にならし保育について詳細を説明しています。持っていると安心するもの、寝ている時に欠かせないものがある場合は全て受け入れ、子どもが安心して生活できるように配慮しています。 ・毎日連絡帳を記入するとともに、保育所への登降の際には保護者から家庭での様子を聴き取り、また保育所での一日のエピソードなどを話すことで保護者の不安を解消しています。 ・乳児が安心して生活できるように、乳児クラス1名は担任が持ち上がるようにしています。1歳時クラスは入所後新入園児と進級時が別々に過ごす期間を設け、年齢に応じた保育を心掛けています。
<p>I-2-(3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画を基に、各クラス別の年間指導計画を4期に分けて作成しています。担任は期ごとに当期の自己評価と翌期の課題を記入しています。 ・月間指導計画については、月に1度のクラス会議で当月の活動状況を自己評価し、園長や主任に報告するとともに意見交換を行うことで保育の質の向上を図っています。クラス会議で決まったことは翌月の活動に反映しています。 ・指導計画には個人面談や保護者アンケートでの保護者の意見も反映させ臨機応変に対応しています。
<p>I-2-(4)乳児保育(0歳児)において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳時においては子ども一人一人に寄り添い子どもの表情や仕草を受け止めながら声をかけています。子どもが居心地良く、安心・安全に過ごせるよう環境設定に配慮しています。具体的には柵で仕切ってコーナーをつくり、子どもが玩具を自由に取り出せ、自分で選んだ遊びに専念できるような環境設定を行っています。また子どもの遊びの状況に応じて玩具を入れ替える等柔軟に対応しています。 ・個々の発達を考慮しながら様々な環境を設定し発達を促しています。こうした日々の発達記録は経過記録票に記入され全職員に情報共有され日々の保育に生かしています。保育所登降の際は家庭での様子を聴き取り、一日の出来事を細かく伝えることで保護者とのコミュニケーションを図っています。

<p>I-2-(5)1歳以上3歳未満の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の微妙な変化をも逃さず、成長段階の特徴を踏まえた保育を実践しています。 ・子ども一人一人の発達を大切にしています。散歩での探索活動を通して五感の働きを豊かにし、興味を持った玩具や絵本を使ってとことん遊ぶことができるように、また自分のマークをわかりやすい大きさに保育室や下駄箱に貼ることで自分の持ち物が他人と区別できるよう、年齢に合わせた保育を実践しています。こうした活動は個人別の経過記録票に詳細に記入され、こうした経過記録票を基に一人一人の発達に合った環境を設定しています。 ・日々の保育では、朝の受け入れの際は保護者が記入した連絡帳の内容を聴き取りその日の子どもの状況を把握し日中の保育に反映しています。保育士は友達との関わりが円滑にできるよう、子どもの年齢に合った関わりを行っています。
<p>I-2-(6)3歳以上児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活の中での豊かな経験を通して知識を身につけ、さまざまなことに意欲的に取り組み、試行錯誤を繰り返しながら好きなことに向かって頑張っていける力を育むために、保育士が仲立ちとなって取組のきっかけづくりをしています。行事の準備など、自由遊びの中で友達と一緒に活動する楽しみが味わえるよう素材を沢山準備しています。 ・子どもがアイデアを出し合いながら、子ども同士で協力し合って活動できるよう見守っています。ドッチボール、運動会、戸外遊び等子どもたちで自主的に進めて活動しています。 <p>子どもたちの育ちを見つめながら遊びに夢中になる環境設定や活動に力を入れています。卒園までに育てて欲しい10の姿のどの段階にまで成長しているかを確認しながら日々の保育を実践しています。</p>

<p>I-3 快適な施設環境の確保</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各トイレには掃除チェック表が設置してあり衛生面には気を付けています。早番が出勤した際にはマニュアルに従って換気に努めています。各部屋には温・湿度計を置き、毎日日誌に記録しています。施設内の設備、玩具等については毎日安全点検を行っており、環境整備につとめています。 ・幼児クラスは常に整理整頓を心掛け、子どもたち通して雑巾がけを励行しています。 <p>毎日のミーティングの中で、禁句や大きな声を出さない等職員間でお互いに注意し合っています。</p>
-----------------------	----------	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・沐浴の設備がないことから清拭、シャワーで対応しています。夏は水遊びをし、その後シャワーで清潔にしています。1階及び2階のテラス、乳児トイレ、園庭にそれぞれ温水がでるシャワーがあり快適な園生活が送れるようにしています。トイレの清掃、消毒については、毎日当番を決め職員が実施しています。 ・ままごと遊び、ぬり絵遊び等のコーナーを作り、子どもたち一人一人が好きな遊びに熱中できるよう工夫しています。乳児クラスは食事の空間、午睡の空間、遊びの空間を分け、子どもの状況により寝ることや遊ぶことができるように配慮しています。 ・散歩、園庭での遊び等日々異年齢での遊びを取り入れ、また運動会等の年度間行事でも交流を深めるようにしています。朝夕の延長保育の時間は異年齢で過ごしています。毎月2回のカレーの日には、3、4、5歳児で給食を食べています。
<p>I-3-(1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各トイレには掃除チェック表が設置してあり衛生面には気を付けています。早番が出勤した際にはマニュアルに従って換気に努めています。各部屋には温・湿度計を置き、毎日日誌に記録しています。施設内の設備、玩具等については毎日安全点検を行っており、環境整備につとめています。 ・幼児クラスは常に整理整頓を心掛け、子どもたち通して雑巾がけを励行しています。毎日のミーティングの中で、禁句や大きな声を出さない等職員間でお互いに注意し合っています。
<p>I-3-(2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沐浴の設備がないことから清拭、シャワーで対応しています。夏は水遊びをし、その後シャワーで清潔にしています。1階及び2階のテラス、乳児トイレ、園庭にそれぞれ温水がでるシャワーがあり快適な園生活が送れるようにしています。トイレの清掃、消毒については、毎日当番を決め職員が実施しています。

<p>I-3-(3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ままごと遊び、ぬり絵遊び等のコーナーを作り、子どもたち一人一人が好きな遊びに熱中できるよう工夫しています。乳児クラスは食事の空間、午睡の空間、遊びの空間を分け、子どもの状況により寝ることや遊ぶことができるように配慮しています。 ・散歩、園庭での遊び等日々異年齢での遊びを取り入れ、また運動会等の年度間行事でも交流を深めるようにしています。 <p>朝夕の延長保育の時間は異年齢で過ごしています。毎月 2 回のカレーの日には、3、4、5 歳児で給食を食べています。</p>
--------------------------------------	----------	--

<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満時については、発達の個人差が大きいことから一人一人の成育歴、心身の発達、活動の実態に即して個別の指導計画を作成しています。幼児クラスは集団生活においても個を大切に、一人一人の子どもが集団の中でも力を発揮し、友達と様々な関わりを持ち協同して遊ぶことで仲間意識を育むよう指導計画を作成しています。 ・幼児でも個別配慮の必要な子に対しては個別支援計画をたて、日々の活動については日誌に詳細を記録しています。クラス会議の中でケース会議を開き月間指導計画に反映しています。個人面談などで子どもの様子を保護者に伝え計画作成に反映させています。
-------------------------------	----------	---

<p>I-4-(1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満時については、発達の個人差が大きいことから一人一人の成育歴、心身の発達、活動の実態に即して個別の指導計画を作成しています。幼児クラスは集団生活においても個を大切に、一人一人の子どもが集団の中でも力を発揮し、友達と様々な関わりを持ち協同して遊ぶことで仲間意識を育むよう指導計画を作成しています。 ・幼児でも個別配慮の必要な子に対しては個別支援計画をたて、日々の活動については日誌に詳細を記録しています。クラス会議の中でケース会議を開き月間指導計画に反映しています。個人面談などで子どもの様子を保護者に伝え計画作成に反映させています。 ・入園時に提出してもらった家庭状況調査票、健康台帳、児童票、入所時面接表は個人毎にファイルされ、全職員が一人一人の発達状況を把握することができるようになっています。 ・日々の保育日誌をもとに、子どもの生活や遊び、情緒や運動に関する事を毎月個人毎に経過記録票に記入しています。 保健日誌は全職員が毎日の周知事項に目を通し確認するよう励行しています。 ・クラスごとに視診簿があり、個人毎の伝達事項が記入されており受入、受け渡しの時に、どの職員にでも連絡できる体制を敷いており引継ぎ漏れを防止しています。
<p>I-4-(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に提出してもらった家庭状況調査票、健康台帳、児童票、入所時面接表は個人毎にファイルされ、全職員が一人一人の発達状況を把握することができるようになっています。 ・日々の保育日誌をもとに、子どもの生活や遊び、情緒や運動に関する事を毎月個人毎に経過記録票に記入しています。 保健日誌は全職員が毎日の周知事項に目を通し確認するよう励行しています。 ・クラスごとに視診簿があり、個人毎の伝達事項が記入されており受入、受け渡しの時に、どの職員にでも連絡できる体制を敷いており引継ぎ漏れを防止しています。

<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取組み</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議の中でケース会議を開催し、日常困っている個別ケースについて職員全員で話し合い、会議の記録を作成し全員に周知できるようにしています。横浜市西部地域療
---------------------------------	----------	---

育センターの年 2 回の研修には積極的に参加し園内研修で研修発表会を行い、日常の保育に生かすよう努めています。

- ・配慮を必要とする個別指導計画、個別支援計画に基づき日々の活動を記録し、個人日誌は個人別にファイルされており、いつでも取り出して見ることができるようになっています。
- ・障害のある子どもが落ち着いて過ごせるよう環境設定に配慮しています。横浜市西部地区地域療育センターと連携をとり、当センターの職員が保育園を訪れ、障害児を観察し療育について話し合っています。また当センターに通園している子どもについても療育情報を共有しています。
- ・障害児保育研修についても積極的に参加し、園内研修で研修報告を行い、全職員で情報を共有しています。クラスの中で障害のある子ども、ない子ども、共に成長して行けるよう保育士の関わりを工夫しています。
- ・入職時、年度初めに虐待について研修会を開催しています。また理事長が全国の保育所を訪問し虐待について研修会を開催しています。
- ・朝夕保護者と挨拶し、言葉を交わし信頼関係をつくっています。その際保護者の変化、様子など気になることがあった時はすぐに園長や他の職員に伝え共有しています。
- ・身体測定や着替えの際には子どもの身体を注意深く観察しています。気になる傷やあざは写真を撮り児童相談所に報告をしています。必要な保護者には面談をし、区役所その他の機関と連携を取りながら虐待の防止に努めています。
- ・医師の診断書をもとに献立をつくりアレルギーへの対応を行っています。マニュアルをもとにアレルギー研修を実施しています。
- ・毎月保護者、栄養士、園長が面談を行い翌月の献立を確認し除去食を決定しています。事務室に設置してある周知健康日誌には毎日のアレルギー情報が記入されており、職員が確認しサインをすることで周知徹底しています。
- ・専用のトレイや食器を使い、食事提供職員、配膳担当職員、受取担当職員が確認の声だしを行い、更に専用ファイルに調理担当のサイン、受け取った職員のサイン、提供した職員のサインを記録に残すことで誤食事故防止に努めています。こうしたことは横浜市食物アレルギー対応マニュアルに基づき実施しています。
- ・入所前の面談で生活習慣を聞き、保育所で配慮できること

		<p>については積極的に対応しています。保護者と積極的にコミュニケーションを図るよう務めています。話合いの際には保土ヶ谷区から通訳を頼んでいます。国旗や地球儀等を使いながら異文化を経験できるよう保育に生かしています。</p>
<p>I-5-1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議の中でケース会議を開催し、日常困っている個別ケースについて職員全員で話し合い、会議の記録を作成し全員に周知できるようにしています。横浜市西部地域療育センターの年2回の研修には積極的に参加し園内研修で研修発表会を行い、日常の保育に生かすよう努めています。 ・配慮を必要とする個別指導計画、個別支援計画に基づき日々の活動を記録し、個人日誌は個人別にファイルされており、いつでも取り出して見ることができるようになっています。
<p>I-5-2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもが落ち着いて過ごせるよう環境設定に配慮しています。横浜市西部地区地域療育センターと連携をとり、当センターの職員が保育園を訪れ、障害児を観察し療育について話し合っています。また当センターに通園している子どもについても療育情報を共有しています。 ・障害児保育研修についても積極的に参加し、園内研修で研修報告を行い、全職員で情報を共有しています。クラスの中で障害のある子ども、ない子ども、共に成長して行けるよう保育士の関わりを工夫しています。
<p>I-5-3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・入職時、年度初めに虐待について研修会を開催しています。また理事長が全国の保育所を訪問し虐待について研修会を開催しています。 ・朝夕保護者と挨拶し、言葉を交わし信頼関係をつくっています。その際保護者の変化、様子など気になることがあった時はすぐに園長や他の職員に伝え共有しています。 ・身体測定や着替えの際には子どもの身体を注意深く観察しています。気になる傷やあざは写真を撮り児童相談所に報告をしています。必要な保護者には面談をし、区役所その他の機関と連携を取りながら虐待の防止に努めています。

<p>I-5-(4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書をもとに献立をつくりアレルギーへの対応を行っています。マニュアルをもとにアレルギー研修を実施しています。 ・毎月保護者、栄養士、園長が面談を行い翌月の献立を確認し除去食を決定しています。事務室に設置してある周知健康日誌には毎日のアレルギー情報が記入されており、職員が確認しサインをすることで周知徹底しています。 ・専用のトレイや食器を使い、食事提供職員、配膳担当職員、受取担当職員が確認の声だしを行い、更に専用ファイルに調理担当のサイン、受け取った職員のサイン、提供した職員のサインを記録に残すことで誤食事故防止に努めています。こうしたことは横浜市食物アレルギー対応マニュアルに基づき実施しています。
<p>I-5-(5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前の面談で生活習慣を聞き、保育所で配慮できることについては積極的に対応しています。保護者と積極的にコミュニケーションを図るよう努めています。話し合いの際には保土ヶ谷区から通訳を頼んでいます。国旗や地球儀等を使いながら異文化を経験できるよう保育に生かしています。

<p>I-6 苦情解決体制</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応の窓口は園長であることを保育園のしおりの中に明記しています。 ・玄関に意見箱を設置し意見や要望の収集に努めています。運動会や遠足等の大きな行事の後は必ずアンケートを行い保護者の意見を聴取しています。 ・年度末には保育所の運営に関するアンケートを行い集計結果を配布しています。アンケート結果は翌期の日々の業務に反映しています。 ・苦情解決のマニュアルが整備されています。第三者委員を交えた対応の仕組みもできています。 ・要望や苦情の対応、解決方法などは職員会議で話し合い、その内容、解決方法について情報を共有するとともに今後の改善につなげています。 ・申し立て事項は苦情処理簿を作成し、申し立て事項を集約して蓄積、整理し解決に役立てています。要望は保護者アンケートに記入されていますので、ファイルに保管しています。
-------------------	----------	--

<p>I-6-(1)保護者が保育についての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応の窓口は園長であることを保育園のしおりの中に明記しています。 ・玄関に意見箱を設置し意見や要望の収集に努めています。運動会や遠足等の大きな行事の後は必ずアンケートを行い保護者の意見を聴取しています。 ・年度末には保育所の運営に関するアンケートを行い集計結果を配布しています。アンケート結果は翌期の日々の業務に反映しています。
<p>I-6-(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決のマニュアルが整備されています。第三者委員を交えた対応の仕組みもできています。 ・要望や苦情の対応、解決方法などは職員会議で話し合い、その内容、解決方法について情報を共有するとともに今後の改善につなげています。 ・申し立て事項は苦情処理簿を作成し、申し立て事項を集約して蓄積、整理し解決に役立てています。要望は保護者アンケートに記入されていますので、ファイルに保管しています。

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

<p>Ⅱ-1 保育内容</p>	<p>A</p>	<p>[遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるよう、玩具絵本等を十分用意してあり、子どもが遊びを選んで好きな遊びを楽しめるような環境設定をしています。 ・子どもがそれぞれ落ち着いて遊べるよう、独自に開発した地震でも倒れない棚を利用したり、コーナー遊びができるように工夫しています。 ・子どもが遊び込める時間を十分に確保しています。保育室、廊下を開放して自由に行き来をできるようにしたり、園庭と室内を自由に行き来して遊ぶなど工夫するほか、コーナー作りをして、好きな遊びを遊び込めるような環境設定をしています。 ・子どもがそれぞれ電車ごっこ、ままごと遊び、お店屋さん、お医者さんごっこなど子どものやりたい気持ちを大切にしています。 ・一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさや友達関係やルー
-----------------	----------	---

ルなど年齢に応じた方法を取り入れています。

- ・幼児クラスでは、ドッチボール、椅子取りゲーム、リズムなど集団で遊ぶ楽しさを味わえるよう取り入れ、保育士も一緒に参加しています。
- ・自然に触れたり地域や社会に関わる体験として、園庭で野菜を栽培し、収穫して自分たちで食する体験を行っています。
- ・週に3日ほど散歩など、園外に出かける際には、地域の大人や子供たちと会話をしたり、ゲートボールをしているお年寄りには挨拶をしています。
- ・園外活動として、公園散歩、ドングリや木の葉っぱ収集、園ではできない泥んこ遊びなど自然に触れる機会を設けています。
- ・子どもが自由に使えるよう、また玩具の数が足りなくて取り合いにならないよう、遊びの内容が発展するよう、たくさんのおもちゃを揃えています。
- ・屋外活動などを行う際には、紫外線対策として、園庭には遮光ネットを張り、日光アレルギーに対しては保護者の要望がある場合には柔軟に対応しています。
- ・子どもの既往歴や健康状態に合わせた工夫を行い、病み上がりの子どもは室内で静かに過ごせるよう配慮しています。

[生活]

- ・食事で遅い子、早い子がいますが、個人差を考慮しながら遅い子にもゆっくり落ち着いて食するよう援助するようにしています。全部食べることが困難な子には残さず食べることを強制せず食べたくないものは無理に食べさせないように努めています。
- ・子どもが自分たちで野菜を栽培し、収穫したものを食べています。実際に作った野菜や玉ねぎの皮むきを調理員と一緒に下準備をしています。保育士も一緒に給食を食べ、楽しく食べられる雰囲気を作っています。
- ・乳児は朝ミルクを飲んできた時間を考慮し、個々に合った時間、量のミルク、離乳食を提供しています。
- ・授乳するときや離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重し、個々の進み具合に合わせて、保護者と相談しながら離乳食を進めています。
- ・月に2回3，4，5歳児と一緒に給食を食することで雰囲気づくりを工夫しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・食材や食器の安全性に配慮しています。食器は磁器やPBT-S樹脂のものを使っています。 ・子どもの好き嫌いを把握し盛り付けの量を加減したり、発達にあった大きさに調理し食べやすくしています。 ・栄養士や調理師がクラスを回り、一緒に給食を食べ喫食状況を把握し、子どもの障害や、喫食状況に合わせ、一人一人に合った給食を提供するようにしています。 ・毎月、献立表、給食便りを発行しています。 ・給食コーナーにおすすめレシピ、野菜の栄養価の説明など、保護者に向けて展示しています。 ・日々の喫食状況をフォトフレームで流し、連絡ノートに残食などを記載しています。 ・午睡の時間は部屋を少し暗くし、オルゴールの音楽をかけるなど、ゆったりした静かな空間を作るよう配慮しています。 ・乳幼児突然死症候群に対する対策として、窒息防止の布団を使用し、体位もチェックしSIDSチェックも行っています。 ・排泄に関しては保護者と相談しながら、個々のタイミングに合わせてトレーニングをしています。 ・保育時間の長い子どもに配慮して手作りの軽食、夕食を保護者の希望で提供しています。また安心して過ごせるよう長時間保育の計画、日誌を作成しています。
<p>〔遊び〕</p> <p>Ⅱ-1-(1)子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるよう、玩具絵本等を十分用意してあり、子どもが遊びを選んで好きな遊びを楽しめるような環境設定をしています。 ・年齢や発達にふさわしい環境構成にしています。年齢や発達に応じた工夫をしています。棚に置く玩具は小さなかごに小分けにして入れ、写真を貼って片付けやすくしています。 ・子どもがそれぞれ落ち着いて遊べるよう、独自に開発した地震でも倒れない棚を利用したり、コーナー遊びができるように工夫しています。 ・子どもが遊び込める時間を十分に確保しています。保育室、廊下を開放して自由に行き来をできるようにしたり、園庭と室内を自由に行き来して遊ぶなど工夫するほか、コーナー作りをして、好きな遊びを遊び込めるような環境設定をしています。

<p>Ⅱ－１－(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自由な発想を受け止め、年齢に応じた一斉活動を取り入れています。 ・子どもがそれぞれ電車ごっこ、ままごと遊び、お店屋さん、お医者さんごっこなど子どものやりたい気持ちを大切にしています。 ・一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさや友達関係やルールなど年齢に応じた方法を取り入れています。状況に応じて保育者が援助をし、遊び込める環境作りを心掛けています。 ・幼児クラスでは、ドッチボール、椅子取りゲーム、リズムなど集団で遊ぶ楽しさを味わえるよう取り入れ、保育士も一緒に参加しています。
<p>Ⅱ－１－(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に触れたり地域や社会に関わる体験として、園庭で野菜を栽培し、収穫して自分たちで食する体験を行っています。じゃがいも、さつまいもを育て、4，5歳児で芋ほりを楽しんだりしています。 ・週に3日ほど散歩など、園外に出かける際には、地域の大人や子供たちと会話をしたり、ゲートボールをしているお年寄りには挨拶をしています。 ・園外活動として、公園散歩、ドングリや木の葉っぱ収集、園ではできない泥んこ遊びなど自然に触れる機会を設けています。
<p>Ⅱ－１－(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、体を動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の遊びは子どもたちが自分で考え遊びたい遊びを行なえるよう、たくさんの種類の玩具を用意している。0歳児は素材の感覚、1歳児はモノが掴めるもの、2歳児はブロック、幼児は積み木、重ね折り紙でハサミを使い切る、つなぐなど年齢に応じた対応をしています。 ・子どもが自由に使えるよう、また玩具の数が足りなくて取り合いにならないよう、遊びの内容が発展するよう、たくさんの玩具を揃えています。素材も、発達にあったクレヨンものを用意しており、年齢に合ったものを準備しています。幼児クラスは子どもが自由に取り出せるところに、様々な素材を用意してあります。 ・歌や絵・文字にも配慮しています。5歳児クラスには鍵盤ハーモニカ、木琴で自由に演奏できるよう、コーナーに置いてあります。ぬりえ、お絵かき、折り紙、はさみはいつでもできるように、コーナーに置いてあります。

<p>Ⅱ－１－(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のけんか等については、噛みつきやひっかきなどに注意しながら、見守れるところは見守ったり、仲立ちをしたりして、子どもの気持ちを受け止め対応するよう心掛けています。特に幼児クラスは自分たちで解決できるよう、極力見守るようにしています。 ・異年齢で散歩に行ったり、朝夕の合同保育、リズム遊びなどで異年齢交流をしたり、午睡明けに5歳児が2歳児クラスに行き、着替えやシート替えのお手伝いをしています。 ・職員は3歳から5歳まで、また4歳、5歳一緒に散歩などを率いて常に暖かい態度で信頼関係を築くようにしています。
<p>Ⅱ－１－(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や屋外活動などを積極的に取り入れています。乳児クラスでもなるべく歩行するよう遊歩道を活用していますが、天候や子どもの状態によって移動に散歩車を使用するなど無理なく臨機応変に対応しています。 ・屋外活動などを行う際には、紫外線対策として、園庭には遮光ネットを張り、日光アレルギーに対しては保護者の要望がある場合には柔軟に対応しています。 ・子どもの成長に合わせた環境設定を行い、全身の発達を促すようにしています。乳児クラスは保育室に乳児用平均台や、飛び石などを置いたり、布団の山を作るなど全身を動かせるよう工夫しています。 ・子どもの既往歴や健康状態に合わせた工夫を行い、病み上がりの子どもは室内で静かに過ごせるよう配慮しています。

<p>[生活]</p> <p>Ⅱ－1－(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事で遅い子、早い子がいますが、個人差を考慮しながら遅い子にもゆっくり落ち着いて食するよう援助するようにしています。全部食べることが困難な子には残さず食べることを強制せず食べたくないものは無理に食べさせないように努めています。 ・子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、これが大好物の〇〇よ、ゆっくりたべようね、おいしいね、などやさしく声かけをして援助しています。 ・4、5、歳児は自分で給食をよそうようにしています。お当番も決め、配膳、下膳を行っています。幼児クラスは月に2回ほどクッキングを行い自分で作ったものを食べています。 ・子どもが自分たちで野菜を栽培し、収穫したものを食べています。実際に作った野菜や玉ねぎの皮むきを調理員と一緒に下準備をしています。保育士も一緒に給食を食べ、楽しく食べられる雰囲気を作っています。 ・乳児は朝ミルクを飲んできた時間を考慮し、個々に合った時間、量のミルク、離乳食を提供しています。 ・授乳するときや離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重し、個々の進み具合に合わせ、保護者と相談しながら離乳食を進めています。
<p>Ⅱ－1－(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度給食会議を行い、献立表や季節の旬の材料等の話し合いをして食欲のわく盛り付けを工夫しています。毎月給食便りを出し、季節感のある献立を紹介しています。1月には本部の鳥取から新米が届き、稲穂を展示し、給食で新米を食するようにしています。 ・月に2回3、4、5歳児と一緒に給食を食することで雰囲気づくりを工夫しています。 ・食材や食器の安全性に配慮しています。食器は磁器やPBT－S樹脂のものを使っています。 ・子どもが少しでも自分で食べられるよう、スプーンや食器を年齢に合わせて変えており、5歳児は自分で給食をよそっています。また、お互いの顔が見えるように配慮しています。

<p>Ⅱ－１－(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に生かしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの好き嫌いを把握し盛り付けの量を加減したり、発達にあった大きさに調理し食べやすくしています。 ・栄養士や調理師がクラスを回り、一緒に給食を食べ喫食状況を把握し、子どもの障害や、喫食状況に合わせ、一人一人に合った給食を提供するようにしています。 ・残食量は記録し、子どもの喫食状況に応じてメニューを変更しています。
<p>Ⅱ－１－(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、献立表、給食便りを発行しています。 ・給食コーナーにおすすめレシピ、野菜の栄養価の説明など、保護者に向けて展示しています。 ・日々の喫食状況をフォトフレームで流し、連絡ノートに残食などを記載しています。 ・毎日保育参加を受け付けており、保護者が給食を食べられる機会を設けています。
<p>Ⅱ－１－(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡をしたくない子どもは、午睡をしないで別の場所で遊んですごしています。 ・午睡の時間は部屋を少し暗くし、オルゴールの音楽をかけるなど、ゆったりした静かな空間を作るよう配慮しています。 ・乳幼児突然死症候群に対する対策として、窒息防止の布団を使用し、体位もチェックしSIDSチェックも行っています。 ・年長児は 9 月から一斉に午睡はせず、個々の対応をしていますが、保護者の希望によって午睡を調整しています。
<p>Ⅱ－１－(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関しては保護者と相談しながら、個々のタイミングに合わせてトレーニングをしています。 ・トイレトレーニングとして、外出時などトイレに事前に誘ったり、トイレのある公園に行くなどの配慮をしています。 ・園での排泄状況は連絡帳で排便の回数、形態を書いて保護者に伝えています。 ・トイレトレーニング中の子は、排尿回数を記録するボードに記入してリズムをつかめるようにしています。 ・おもらしをした子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、職員は虐待防止マニュアルを活用し日々の保育に生かしています。

<p>Ⅱ－1－(13)長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがゆったりとくつろいで過ごすことができるよう、コーナー作りをして、絵本、玩具を自由に選び、子ども一人一人がゆったり過ごせるように配慮しています。 ・保育時間の長い子どもに配慮して手作りの軽食、夕食を保護者の希望で提供しています。また安心して過ごせるよう長時間保育の計画、日誌を作成しています。 ・保育士間の引き継ぎをスムーズにするため、視診簿、周知簿を使用し、子どもの状況を誰もが把握できるようにしています。 ・担任等子どもを担当する保育士と保護者の連携が十分にとれるよう全園児に連絡帳を使用し連携を密にしています。
---	----------	---

<p>Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理</p>	<p>A</p>	<p>[健康管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の健康状態を把握するため、健康管理マニュアルを作成し職員に周知しています。 ・既往症について常に保護者から情報を得られるよう、入園児、進級時園児全員の既往歴の書類を作成し毎年見直しています。 ・園での子どもの健康状態を保護者に伝えるため、視診簿、連絡帳を利用し、受け渡しの際は子どもの状態を丁寧に伝えています。 ・年に2回健康診断を行い、個人別健康台帳に一人ずつ記入しています。年に2回赤染をし、歯磨き指導を受けています。感染症等の疑いが生じた場合の対応は感染症マニュアルとして整備し、保護者に内容を連絡しています。 ・保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮しています。 <p>[衛生管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルを作成し、職員に周知しています。その時々に必要な衛生管理については職員会議で徹底しています。 ・入職時のオリエンテーション、職員会議で衛生管理について学んでいます。 ・嘔吐処理セットが各クラスに置いてあります。掃除マニュアルに沿って掃除を行い、掃除チェック表を作成し0歳児用は毎日玩具チェックをしています。 <p>[安全管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを作成し、職員に周知しています。 ・睡眠中、プール活動、水遊び中、食事中等の場面で重大事
---------------------------	----------	---

		<p>故が発生しやすいため、安全管理・事故防止対応マニュアルを作成し、職員に周知しています。プール活動の前には会議で安全管理について話し合いを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡体制を作成し、事務所に置いてあります。 ・不審者等の侵入防止策として、出入り口の施錠は電子鍵を使い、パスワードで開くようにしています。電子鍵のパスワードを毎年変更しています。
<p>[健康管理] II-2-(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の健康状態を把握するため、健康管理マニュアルを作成し職員に周知しています。 ・既往症について常に保護者から情報を得られるよう、入園児、進級時園児全員の既往歴の書類を作成し毎年見直しています。 ・園での子どもの健康状態を保護者に伝えるため、視診簿、連絡帳を利用し、受け渡しの際は子どもの状態を丁寧に伝えています。 ・毎日食後に歯磨き指導行っており、年2回赤染による歯磨き指導を行っています。
<p>II-2-(2)健康診断・歯科検診の結果を保育に反映させているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回健康診断を行い、個人別健康台帳に一人ずつ記入しています。年に2回赤染をし、歯磨き指導を受けています。 ・歯科健診後、歯科健康診査票に一人ずつ記入している。診断結果表は保護者に提示しています。歯磨きの大切さについてペーパーサート等を使用し伝えている。 ・園医、歯科医が定期的に診断を行い、一人一人に健診結果を配布しています。
<p>II-2-(3)感染症への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	A	<p>感染症等の疑いが生じた場合の対応は感染症マニュアルとして整備し、保護者に内容を連絡しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮しています。 ・保育園のしおりに感染症について掲載し、入園説明会、重要事項説明書の説明会で保護者にも説明しています。また保護者にわかるように発生人数、クラスを記載しすぐに各クラス、廊下掲示板に掲示をしています。早急にお迎えに出来ない時は事務所など別スペースで安静に過ごせるように配慮しています。 ・感染症に関する最新情報を職員ミーティングで共有しています。

<p>[衛生管理]</p> <p>Ⅱ－２－(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルを作成し、職員に周知しています。その時々に必要な衛生管理については職員会議で徹底しています。 ・入職時のオリエンテーション、職員会議で衛生管理について学んでいます。 ・嘔吐処理セットが各クラスに置いてあります。掃除マニュアルに沿って掃除を行い、掃除チェック表を作成し0歳児用は毎日玩具チェックをしています。
<p>[安全管理]</p> <p>Ⅱ－２－(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠中、プール活動、水遊び中、食事中等の場面で重大事故が発生しやすいため、安全管理・事故防止対応マニュアルを作成し、職員に周知しています。プール活動の前には会議で安全管理について話し合いを行っています。 ・地震に対しては会議で耐震対策を徹底するよう、話し合っています。上に物を置く時は滑り止めシートを敷き、棚の下は透明の転倒防止クッションを敷いて耐震強化を図っています。消防士を園に招き、全職員が救命救急の研修を受けています。入職した年には、必ず救命救急の研修を受けるようにしています。 ・安全管理マニュアルは事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されています。 ・緊急連絡体制を作成し、事務所に置いてあります。 ・地域の避難訓練にも参加している。年間避難計画をたて、毎月1回様々な場面を設定して、避難訓練を行っています。
<p>Ⅱ－２－(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故対応マニュアル及び近くの医療機関一覧表を作成し周知しています。 ・小さな怪我でも、ヒヤリハット、事故報告書に記入し、職員会議で話し合い再発防止に努めています。子どもの怪我は視診簿に記入し、詳細を詳しく説明するとともに、怪我の処置方法についても説明しています。また少しの傷でも周知簿に記入し、職員が把握するようにしています。
<p>Ⅱ－２－(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者等の侵入防止策として、出入り口の施錠は電子鍵を使い、パスワードで開くようにしています。電子鍵のパスワードを毎年変更しています。 ・不審者等に対する緊急通報体制があり、不審者マニュアルをもとに年2回不審者訓練を行っています。 ・セキュリティ会社を利用し監視カメラを設置しています。

<p>II-3 人権の尊重</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対して、おだやかに分かりやすい言葉で接するように園内研修の中で言葉がけの大切さについて学び合っています。 ・子どもの話をよく聞き、子どもの人権を尊重するような保育を心掛けています。 ・スペースに限りがあるため、事務室などを利用しじっくり落ち着いて話ができるようにしています。 ・カーテンやついたてなどを利用し、プライバシーを守れる場所を作っています。 ・守秘義務の意義や目的を明確にし、入職時、誓約書に署名、捺印をし、法人全体で守秘義務の順守を徹底を行っています。 ・職業体験、ボランティア、実習生などにもその都度説明し、署名、捺印をしてもらっています。 ・個人情報の取り扱いについて、入園時、重要事項説明会の中で、しおり・重要事項説明書を用いて、保護者に説明しています。 ・個人情報となる書類は全て鍵のかかる書庫で保管・管理しています。 ・遊びで製作物を作る際や行事の役割、持ち物、服装などで男女の性差や色分けしないなど配慮しています。 ・順番、グループ分け、整列などでは、子どもの気持ちを尊重しながら、男女の区別がないよう援助しています。
<p>II-3-1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対して、おだやかに分かりやすい言葉で接するように園内研修の中で言葉がけの大切さについて学び合っています。 ・子どもの話をよく聞き、子どもの人権を尊重するような保育を心掛けています。 ・子どもの人格を辱めるような罰を与えたり、自尊心を傷つけるような保育をしないよう、保育指針を基に、園内研修の中で虐待、子どもの権利について学んでいます。 ・守秘義務の意義や目的を明確にし、入職時、誓約書に署名、捺印をし、法人全体で守秘義務の順守を徹底を行っています。 ・遊びで製作物を作る際や行事の役割、持ち物、服装などで男女の性差や色分けしないなど配慮しています。

<p>Ⅱ－3－(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の視線を意識せず過ごせるようクラス内ではコーナー作りなどで一人一人がじっくり遊べるスペース作りを設定しています。 ・スペースに限りがあるため、事務室などを利用し、じっくり落ち着いて話ができるようにしています。 ・カーテンやついたてなどを利用し、プライバシーを守れる場所を作っています。
<p>Ⅱ－3－(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務の意義や目的を明確にし、入職時、誓約書に署名、捺印をし、法人全体で守秘義務の順守を徹底を行っています。 ・個人情報は守秘義務マニュアルの中で、職員に周知しています。職業体験、ボランティア、実習生などにもその都度説明し、署名、捺印をしてもらっています。 ・個人情報の取り扱いについて、入園時、重要事項説明会の中で、しおり・重要事項説明書を用いて、保護者に説明しています。 ・個人情報となる書類は全て鍵のかかる書庫で保管・管理しています。
<p>Ⅱ－3－(4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びで製作物を作る際や行事の役割、持ち物、服装などで男女の性差や色分けしないなど配慮しています。 ・順番、グループ分け、整列などでは、子どもの気持ちを尊重しながら、男女の区別がないよう援助しています。 ・子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を決めつけるような話し方、表現をしないようにしています。 ・無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で各種会議を通して反省する仕組みにしています。

<p>Ⅱ－4 保護者との交流・連携</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する基本方針の説明は、毎年しおり、重要事項説明書を配布して基本方針を説明しています。入園時説明会、年度初めのクラス懇談会で、基本方針を話しています。 ・子どもの様子は周知簿、視診簿や連絡帳に記入し、どの職員も様子を伝えられるようになっています。 ・全園児に連絡帳を使用し、保護者とやり取りをしています。しおりに保育園のメールアドレスを掲載し、メールでのやり取りもできるようになっています。 ・保護者の相談内容は事務所を出入り禁止にし、話を他者に聞かれないように配慮しています。相談内容は園長、主任
-----------------------	----------	---

		<p>に報告し随時対応して職員間でも話し合っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に一度園便りを発行しており、子どもの様子やその月でのイベントなどを連絡しています。 ・園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を各クラスに保育中の写真をフォトフレームの形でスライドショー形式で見られるようになっていて、その日の活動を上映しています。 ・保護者会活動の際には活動がスムーズに行えるよう兄弟の子どもをお預かりしています。また物品、場所の提供をしています。 ・保護者の活動に要請があれば、職員も参加しています。保護者会の活動については園長、主任が窓口となり、コミュニケーションをとっています。
<p>Ⅱ－４－(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する基本方針の説明は、毎年しおり、重要事項説明書を配布して基本方針を説明しています。入園時説明会、年度初めのクラス懇談会で、基本方針を話しています。 ・年に1度保護者アンケートを実施し、回答をまとめ配布しています。 ・毎月発行する園便りの中で、保育方針について記載するようにしている。 ・入園時に配布する重要事項説明書（園のしおり）やパンフレットなどに保育方針を明記しています。
<p>Ⅱ－４－(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子は周知簿、視診簿や連絡帳に記入し、どの職員も様子を伝えられるようになっています。 ・全園児に連絡帳を使用し、保護者やり取りをしています。しおりに保育園のメールアドレスを掲載し、メールでのやり取りもできるようになっています。 ・年に一度個人面談を行っています。希望に応じていつでも面談ができるようにしています。 ・年に2回クラス懇談会を行い、クラスの様子について話をしています。また毎日の様子をボードに記入し、フォトフレームでの映像でわかりやすく掲示しています。
<p>Ⅱ－４－(3)保護者の相談に応じているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の相談内容は事務所を出入り禁止にし、話を他者に聞かれないように配慮しています。 ・相談内容は園長、主任に報告し随時対応して職員間でも話し合っています。 ・相談を受けた内容は記録に残し、継続的にフォローしています。

<p>Ⅱ－４－(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度園便りを発行しており、子どもの様子やその月でのイベントなどを連絡しています。 ・園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を各クラスに保育中の写真をフォトフレームの形でスライドショー形式で見られるようになっていて、その日の活動を上映しています。 ・クラスごとの保護者懇談会を年に2回行っている。欠席をした保護者にも、懇談会の内容を配布しています。 ・日々の保育の様子を撮影したDVDの販売を年に2回行っています。また保育中の写真を3か月に1回20枚ほど(1枚30円)で販売しています。
<p>Ⅱ－４－(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくするため、前年度末までには次年度の年間行事予定表を配布しています。 ・保育参観、参加は毎日受け付けており、有料ではあるが給食も一緒に食べることもできるようにしています。 ・保育参加・参観は随時保護者の要望に応じて行っています。また懇談会に参加できなかった保護者には資料を配布しています。
<p>Ⅱ－４－(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会活動の際には活動がスムーズに行えるよう兄弟の子どもをお預かりしています。また物品、場所の提供をしています。 ・保護者の活動に要請があれば、職員も参加しています。保護者会の活動については園長、主任が窓口となり、コミュニケーションをとっています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

<p>Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者や子ども等との交流として、園庭解放、子ども相談、子育て支援交流保育などを行い、その中で保育所に対する要望を把握するため参加者にアンケートを実施しています。 ・地域の保護者等に対する育児相談は随時受け付けています。 ・関係機関や他施設との検討会・研究会としては子育て支援連絡会、要保護児童対策地域協議会などに積極的に参加しています。 ・地域の子育て支援ニーズについて、地域子育て支援担当から計画を立てる際に、職員会議などで職員と検討しています。
-----------------------------------	----------	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域での子育てを支援するためのサービスとして、地域子育て支援事業、園庭解放、プール開放、給食を食べようなどの取り組みを行っています。 ・地域の保護者や子ども等に向けて子育てや保育の支援として、法人で研修をする際に保護者に声を掛けたり、講師を招いてリズム遊びなどにも参加要請しています。
Ⅲ－１－(1)地域の子育てニーズを把握するための取組をおこなっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者や子ども等との交流として、園庭解放、子ども相談、子育て支援交流保育などを行い、その中で保育所に対する要望を把握するため参加者にアンケートを実施しています。 ・地域の保護者等に対する育児相談は随時受け付けています。 ・関係機関や他施設との検討会・研究会としては子育て支援連絡会、要保護児童対策地域協議会などに積極的に参加しています。
Ⅲ－１－(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を生かしたサービスを提供しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て支援ニーズについて、地域子育て支援担当から計画を立てる際に、職員会議などで職員と検討しています。 ・地域での子育てを支援するためのサービスとして、地域子育て支援事業、園庭解放、プール開放、給食を食べようなどの取り組みを行っています。 ・地域の保護者や子ども等に向けて子育てや保育の支援として、法人で研修をする際に保護者に声を掛けたり、講師を招いてリズム遊びなどにも参加要請しています。

Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者や子ども等へ、区の情報誌に毎月の地域交流イベントを掲載しています。 ・育児相談は要望があればいつでも受け付けています。 ・地域の子育て支援施設に、園の情報を提供しています。 ・必要な関係機関として、星川地区エリア別子育て支援連絡会、幼保子育て支援ほだやセンター、地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点こっころなど地域の団体一覧のリストがあり、職員に周知しています。 ・必要に応じて、関係機関とはケース会議など担当が参加しており、関係機関との会議内容は職員に周知しています。 ・療育センターでの保育参観や区役所等での情報収集、また療育センターより保育園にも出向いてもらい情報交換等を行っています。
----------------------	---	---

<p>Ⅲ－２－(1)地域の保護者や子ども等への情報提供や育児相談に応じているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者や子ども等へ、区の情報誌に毎月の地域交流イベントを掲載しています。 ・育児相談は要望があればいつでも受け付けています。 ・地域の子育て支援施設に、園の情報を提供しています。
<p>Ⅲ－２－(2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な関係機関として、星川地区エリア別子育て支援連絡会名簿、幼保子育て支援ほどがやセンター、地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点こっころなど地域の団体一覧のリストがあり、職員に周知しています。 ・必要に応じて、関係機関とはケース会議など担当が参加しており、関係機関との会議内容は職員に周知しています。 ・療育センターでの保育参観や区役所等での情報収集、また療育センターより保育園にも出向いてもらい情報交換等を行っています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の行事である運動会、お楽しみ会などに地域の保護者や子ども、町内会の方々を招待し来ていただいています。 ・町内会の会合に参加したり、避難訓練に参加して交流を深めています。 ・職業体験、高校生ボランティアの受け入れ、小学校との交流なども積極的に行い、小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図り保育所に対する理解促進に努めています。 ・地域への施設開放や備品等の貸し出し毎日園庭開放、夏はプール開放を行っています。 ・年度初め、プール前、運動会前などは近隣に挨拶まわりをしたり、保育園周辺の清掃を行うことで近隣との友好的な関係を築くための取り組みを行っています。 ・地区センターを利用して、リズム、運動会、お楽しみ会を行い近隣地域の文化・レクリエーション施設等を利用しています。 ・商店街にお散歩に行き、挨拶を交わすなど地域の人達と接する機会（散歩・買い物等）に積極的に交流を図っています。 ・幼保小の連携で近隣の保育園、幼稚園、小学校と交流を図っています。小学生が遊びに来て、一緒にゲームをしたり、制作をしたりして交流を深めています。 ・町内会の避難訓練に参加するなど、地域の行事や活動に参加しています。
------------------------------------	----------	---

<p>IV-1-1(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の行事である運動会、お楽しみ会などに地域の保護者や子ども、町内会の方々を招待し来ていただいています。 ・町内会の会合に参加したり、避難訓練に参加して交流を深めています。 ・職業体験、高校生ボランティアの受け入れ、小学校との交流なども積極的に行い、小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図り保育所に対する理解促進に努めています。 ・地域への施設開放や備品等の貸し出し毎日園庭開放、夏はプール開放を行っています。 ・年度初め、プール前、運動会前などは近隣に挨拶まわりをしたり、保育園周辺の清掃を行うことで近隣との友好的な関係を築くための取り組みを行っています。
<p>IV-1-1(2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターを利用して、リズム、運動会、お楽しみ会を行い近隣地域の文化・レクリエーション施設等を利用しています。 ・商店街にお散歩に行き、挨拶を交わすなど地域の人達と接する機会（散歩・買い物等）に積極的に交流を図っています。 ・幼保小の連携で近隣の保育園、幼稚園、小学校と交流を図っています。小学生が遊びに来て、一緒にゲームをしたり、制作をしたりして交流を深めています。 ・町内会の避難訓練に参加するなど、地域の行事や活動に参加しています。

<p>IV-2 保育所における福祉サービスに関する情報提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所のパンフレット・広報誌・ホームページ等を発行し、区の情報誌に毎月の地域交流イベントを掲載したりして、地域や関係機関に随時、情報を提供しています。地区の子育て支援センターに情報提供、子育てイベントなど、外部の情報提供媒体に対して保育所の情報を提供しています。ホームページでは、保育園のしおり、保育日誌、カリキュラムなど細かいところまで載せています。 ・保育園は月に2回見学会を開催し、参加者には利用条件、保育内容について説明しています。 ・月2回見学ができることを案内しており、都合が悪い方には臨機応変に対応しています。 ・保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応しています。
-----------------------------------	----------	--

IV-2-(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所のパンフレット・広報誌・ホームページ等を発行し、区の情報誌に毎月の地域交流イベントを掲載したりして、地域や関係機関に随時、情報を提供しています。地区の子育て支援センターに情報提供、子育てイベントなど、外部の情報提供媒体に対して保育所の情報を提供しています。ホームページでは、保育園のしおり、保育日誌、カリキュラムなど細かいところまで載せています。
IV-2-(2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園は月に2回見学会を開催し、参加者には利用条件、保育内容について説明しています。 ・月2回見学ができることを案内しており、都合が悪い方には臨機応変に対応しています。 ・保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応しています。

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れにあたり、あらかじめ職員や保護者に基本的考え方・方針が理解されるよう説明しています。職員はマニュアルに従って、オリエンテーションを行っており、ボランティアの方には終了後アンケートを実施し、感想や意見を園運営に反映しています。 ・実習生の受入は、事前にマニュアルに沿ってオリエンテーションを行い、学びたいことを確認してプログラムを組むようにしています。 ・実習生受け入れのための担当者が決められており、毎日話し合いの時間を設けて疑問、質問等に対応しています。 ・効果的な実習が行われるように実習目的に応じたプログラム等を工夫しています。毎日担当したクラスの担任と、話し合う機会を持っています。 ・最終日には、担当が実習生の疑問や質問などに答え、話し合いをしています。また学校の先生にも訪問してもらい、実習生の様子を話し合うなど連携を取っています。
---------------------	---	--

IV-3-(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れにあたり、あらかじめ職員や保護者に基本的考え方・方針が理解されるよう説明しています。職員にはマニュアルに従って、オリエンテーションを行っており、ボランティアの方には終了後アンケートを実施しています。 ・ボランティア受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されています。受け入れに当たっては職員会議で職員に周知しています。 ・ボランティアが終わった時点で、感想や意見を園運営に反映させています。
IV-3-(2)実習生の受け入れを適切に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受入は、事前にマニュアルに沿ってオリエンテーションを行い、学びたいことを確認してプログラムを組むようにしています。 ・実習生受け入れのための担当者が決められており、毎日話し合いの時間を設けて疑問、質問等に対応し、受け入れ時の記録が整備されています。 ・実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫し、担当したクラスの担任と、話し合う機会を持っています。 ・最終日には、担当が実習生の疑問や質問などに答え、話し合いをしています。また学校の先生にも訪問してもらい、実習生の様子を話し合うなど連携を取っています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

V-1 職員の人材育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、階層別の人材育成計画を実施しています。受講者には期待される組織上の役割を及び研修目的を明確に伝えキャリア形成に取り組んでいます。また将来の道標を示すことで職員のモチベーション及び定着率向上に貢献しています。年2回（10月と3月）自己評価票に基づき個人別の自己評価を実施し各々園長と面談を行い達成度を確認しています。 ・法人研修、園内研修、外部研修には正規職員、非常勤職員関係なく全員参加を励行し資質向上に努めています。研修に行った際は必ず園内研修の中で研修報告を実施しています。研修報告書は全員に配布されるので欠席者も見ることができます。
-------------	---	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・事務室内で14時から10分間の「14時ミーティング」を開催しています。内容はその日の禁句・自由活動・戸外活動について意見を出し合いエピソードも付け加えて参加した数人の保育士が発表します。主任保育士が的確に対応し即座に処理しています。また午後のシフト変更等の確認はミーティング内で行っています。 ・横浜フォーラムで実施される研究発表にも参加し参考になる点は業務に取り入れています。 個人別に研修計画を立て、偏ることのないように配慮して研修に取り組んでいます。 ・主任保育士は当日の午後の体制を常勤・非常勤職員をバランスよく配置し、14時ミーティングで指示出しをしています。園長、主任で非常勤職員に対する面談機会を設け、職員間のコミュニケーションの円滑化を図っています。
<p>V-1-(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、階層別の人材育成計画を実施しています。受講者には期待される組織上の役割を及び研修目的を明確に伝えキャリア形成に取り組んでいます。また将来の道標を示すことで職員のモチベーション及び定着率向上に貢献しています。年2回(10月と3月)自己評価票に基づき個人別の自己評価を実施し各々園長と面談を行い達成度を確認しています。
<p>V-1-(2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人研修、園内研修、外部研修には正規職員、非常勤職員関係なく全員参加を励行し資質向上に努めています。研修に行った際は必ず園内研修の中で研修報告を実施しています。研修報告書は全員に配布されるので欠席者も見ることができます。 ・事務室内で14時から10分間の「14時ミーティング」を開催しています。内容はその日の禁句・自由活動・戸外活動について意見を出し合いエピソードも付け加えて参加した数人の保育士が発表します。主任保育士が的確に対応し即座に処理しています。また午後のシフト変更等の確認はミーティング内で行っています。 ・横浜フォーラムで実施される研究発表にも参加し参考になる点は業務に取り入れています。 個人別に研修計画を立て、偏ることのないように配慮して研修に取り組んでいます。

<p>V-1-(3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主任保育士は当日の午後の体制を常勤・非常勤職員をバランスよく配置し、14時ミーティングで指示出しをしています。園長、主任で非常勤職員に対する面談機会を設け、職員間のコミュニケーションの円滑化を図っています。
-------------------------------------	----------	---

<p>V-2 職員の技術の向上</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年2回自己評価を行う際に園長とその時々で取り組んできたことの確認や課題について話し合っています。クラス会議や職員会議で職員が保育の好事例を紹介しスキルの向上に努めています。 法人本部から理事長をはじめ職員から指導を受けています。法人内研修で交流し意見交換することで互いにレベルアップを図っています。更に法人内で職員が異動することで各保育所の長所を吸収し技術の向上に努めています。 年間指導計画に保育士の自己評価欄を設け、保育のねらいと関連づけて振り返れるようにしています。月間指導計画においても毎月の達成状況を自己評価欄に記入し、課題を翌月の活動に取り入れています。年2回の自己評価では、保育理念から保育を支える組織的基盤まで広範囲に亘り振り返ることで、自らの専門性の向上だけでなく組織の一員としての作法についても振り返ることで人格形成の向上にも努めています。 毎日の日誌を活用し日々の自己評価を行い、週案により1週間の自己評価を行い翌月の行動計画に反映しています。 年度末に保護者アンケートを行い、アンケート結果に基づき保育所の自己評価を行っています。自己評価は保護者が見やすい所に貼り出しています。 毎年、職員会議等でその年の自己評価、保育所としての自己評価を行っています。保育所の自己評価は、保育所の理念や方針、全体的な計画、指導計画に沿って作成しています。自己評価の結果から、翌年に取り組むべき課題や改善を要する点を記入し、より良い運営ができるように努めています。
---------------------	----------	---

<p>V-2-(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回自己評価を行う際に園長とその時々で取り組んできたことの確認や課題について話し合っています。クラス会議や職員会議で職員が保育の好事例を紹介しスキルの向上に努めています。 ・法人本部から理事長をはじめ職員から指導を受けています。法人内研修で交流し意見交換することで互いにレベルアップを図っています。更に法人内で職員が異動することで各保育所の長所を吸収し技術の向上に努めています。
<p>V-2-(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実績を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に保育士の自己評価欄を設け、保育のねらいと関連づけて振り返れるようにしています。月間指導計画においても毎月の達成状況を自己評価欄に記入し、課題を翌月の活動に取り入れています。年2回の自己評価では、保育理念から保育を支える組織的基盤まで広範囲に亘り振り返ることで、自らの専門性の向上だけでなく組織の一員としての作法についても振り返ることで人格形成の向上にも努めています。 ・毎日の日誌を活用し日々の自己評価を行い、週案により1週間の自己評価を行い翌月の行動計画に反映しています。
<p>V-2-(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価をおこなっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に保護者アンケートを行い、アンケート結果に基づき保育所の自己評価を行っています。自己評価は保護者が見やすい所に貼り出しています。 ・毎年、職員会議等でその年の自己評価、保育所としての自己評価を行っています。保育所の自己評価は、保育所の理念や方針、全体的な計画、指導計画に沿って作成しています。自己評価の結果から、翌年に取り組むべき課題や改善を要する点を記入し、より良い運営ができるように努めています。

<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当保育所は人材育成を図るために保育所内外の研修に力を入れています。個人別研修記録簿が整備されており自分のキャリアが一目で確認できます。また今後必要な研修を計画的に習得することでモチベーションの向上に役立っています。 ・個人別研修記録簿に基づき毎年度の研修計画を作成しています。研修への参加は積極的な反面、人事評価については法人本部から評価基準、評価方法等の開示が明確に示され
--------------------------	----------	---

		<p>ていないようです。貢献度に応じた評価を実施することは職員のモチベーションにつながることから評価基準についてもオープンにすることを期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上からの支持を待つのではなく、個々の状況により判断できるものについては、各職員が責任をもち判断・行動しています。結果は必ず園長に報告しています。自分だけでは判断できない内容等、必要な場合には経験のある職員から助言を受けますが、個々の職員も責任をもって行動できるようにしています。失敗を恐れず経験を沢山積むことで自信に繋げています。 ・園長や主任等が、職員一人ひとりと話し合える場を多く持ち、職員の満足度・要望等を把握できるようにしています。しかしながら、経験・能力や習熟度に応じた各職員への役割が期待水準として明文化されていないようです。役割期待を明示し、期末にはフィードバックすることで職員の成長につながります。法人本部の指導を仰ぎながら役割期待水準の明文化が望まれます。
<p>V-3-(1)総合的な人事管理が行われているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当保育所は人材育成を図るために保育所内外の研修に力を入れています。個人別研修記録簿が整備されており自分のキャリアが一目で確認できます。また今後必要な研修を計画的に習得することでモチベーションの向上に役立っています。 ・個人別研修記録簿も基づき毎年度の研修計画を作成しています。研修への参加は積極的な反面、人事評価については法人本部から評価基準、評価方法等の開示が明確に示されていないようです。貢献度に応じた評価を実施することは職員のモチベーションにつながることから評価基準についてもオープンにすることを期待します。

<p>V-3-(2)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上からの支持を待つのではなく、個々の状況により判断できるものについては、各職員が責任をもち判断・行動しています。結果は必ず園長に報告しています。自分だけでは判断できない内容等、必要な場合には経験のある職員から助言を受けますが、個々の職員も責任をもって行動できるようにしています。失敗を恐れず経験を沢山積むことで自信に繋がっています。 ・園長や主任等が、職員一人ひとりと話し合える場を多く持ち、職員の満足度・要望等を把握できるようにしています。しかしながら、経験・能力や習熟度に応じた各職員への役割が期待水準として明文化されていないようです。役割期待を明示し、期末にはフィードバックすることで職員の成長につながります。法人本部の指導を仰ぎながら役割期待水準の明文化が望まれます。
---	----------	--

評価領域VI 経営管理

<p>VI-1 経営における社会的責任</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は社会福祉法人尚徳福祉会の定める倫理規定に準じて行動しています。毎年コンプライアンス研修を行っています。 社会福祉法人としての公益性の視点から「地域社会から信頼される保育所、地域社会に貢献できる保育所」を目指し保育に取り組んでいます。 ・日々の保育園に関する事件やニュースについても全職員に書面を配布し職員会議等で話し合う機会を設けています。 ・法人本部の管理運営規程、経理規程、給与規程、文書取扱規程等に基づき業務を運営しています。決算報告書は誰でも閲覧できるようホームページに公表しており透明性を担保しています。園だよりやホームページで保育所の状況を周知しています。 ・園庭でジャガイモ、サツマイモ、トマト等の野菜を栽培し保育園の緑化に努めています。ゴミの減量化・リサイクル・省エネルギー・緑化の推進については、環境保護の理念のもとに、日常保育のなかで取り組みに努めています。例えば年長クラスはペットボトルの廃材を利用しヒヤシンスの水耕栽培を行っています。
-------------------------	----------	---

<p>VI-1-(1) 保育所として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は社会福祉法人尚徳福社会の定める倫理規定に準じて行動しています。毎年コンプライアンス研修を行っています。社会福祉法人としての公益性の視点から「地域社会から信頼される保育所、地域社会に貢献できる保育所」を目指し保育に取り組んでいます。 ・日々の保育園に関する事件やニュースについても全職員に書面を配布し職員会議等で話し合う機会を設けています。
<p>V-1-(2) 公正かつ透明性の高い適切な経営・運営のための取組が行われているか (市立保育所は非該当項目)</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人本部の管理運営規程、経理規程、給与規程、文書取扱規程等に基づき業務を運営しています。決算報告書は誰でも閲覧できるようホームページに公表しており透明性を担保しています。園だよりやホームページで保育所の状況を周知しています。
<p>VI-1-(3) 保育の質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭でジャガイモ、サツマイモ、トマト等の野菜を栽培し保育園の緑化に努めています。ゴミの減量化・リサイクル・省エネルギー・緑化の推進については、環境保護の理念のもとに、日常保育のなかで取り組みに努めています。例えば年長クラスはペットボトルの廃材を利用しヒヤシンスの水耕栽培を行っています。

<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所や保育室に理念・基本方針の書かれた用紙を掲示しています。年度初め、入職時に理念・基本方針を明文化したリーフレットを職員に配布しています。毎日のミーティングでは理念や保育方針に沿った保育ができているか意見を交換し保育の質の向上を目指しています。 ・園長がクラス懇談会、保護者役員会に参加しコミュニケーションを図っています。送迎時には保護者へ話しかけコミュニケーションが図られるよう心掛けています。 ・保護者アンケートは結果を告知し、要望事項は可能な限り改善し保育に反映させるようにしています。重要な変更に対しては保護者アンケートを行い、話し合いを持って慎重に行っています。外部の研修にも積極的に参加し主任業務向上に役立てています。定期的に各クラスの業務状況を確認し、主任固有の仕事ができる時間を設けています。職員とできる限りコミュニケーションをとり、相談や報告がしやすい環境づくりに努めています。
--------------------------------	----------	---

<p>VI-2-(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所や保育室に理念・基本方針の書かれた用紙を掲示しています。年度初め、入職時に理念・基本方針を明文化したリーフレットを職員に配布しています。毎日のミーティングでは理念や保育方針に沿った保育ができているか意見を交換し保育の質の向上を目指しています。
<p>VI-2-(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長がクラス懇談会、保護者役員会に参加しコミュニケーションを図っています。送迎時には保護者へ話しかけコミュニケーションが図られるよう心掛けています。 ・保護者アンケートは結果を告知し、要望事項は可能な限り改善し保育に反映させるようにしています。重要な変更に対しては保護者アンケートを行い、話し合いを持って慎重に行っています。
<p>VI-2-(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修にも積極的に参加し主任業務向上に役立っています。定期的に各クラスの業務状況を確認し、主任固有の仕事ができる時間を設けています。職員とできる限りコミュニケーションをとり、相談や報告がしやすい環境づくりに努めています。

<p>VI-3 効率的な運営</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人本部による関東地区での合同の園長講習を開催し意見交換するとともに保育所を取巻く環境についても学習し、そこで得られた知識やアイデアを園の運営に生かすように努めています。 ・クラス会議、代表者会議、幼児会議、給食会議等会議を細かく行い子どもたちを取り巻く社会環境についても情報を収集・分析を行っています。 ・特に今回の保育指針の改訂に伴った新たな取組みについては全職員が早期に対応、定着できるように努め、保育の新たな環境整備に向けて全体的な計画や基本方針の見直しに取り組んでいます。 ・中長期的な保育運営ビジョンは法人本部で策定し、ビジョンに基づき当保育園は年度間の事業計画を立て期末には振り返りを行っています。しかしながら保育所独自の中長期事業計画が未作成です。民間移管されて2年が経過した現在、地域の世帯状況や保護者の要望などの把握に努め、当地域に根差した保育所独自の事業計画書の策定が望まれます。
<p>VI-3-(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人本部による関東地区での合同の園長講習を開催し意見交換するとともに保育所を取巻く環境についても学習し、そこで得られた知識やアイデアを園の運営に生かすように努めています。 ・クラス会議、代表者会議、幼児会議、給食会議等会議を細かく行い子どもたちを取り巻く社会環境についても情報を収集・分析を行っています。 ・特に今回の保育指針の改訂に伴った新たな取組みについては全職員が早期に対応、定着できるように努め、保育の新たな環境整備に向けて全体的な計画や基本方針の見直しに取り組んでいます。
<p>VI-3-(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。 (市立保育所は非該当項目)</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な保育運営ビジョンは法人本部で策定し、ビジョンに基づき当保育園は年度間の事業計画を立て期末には振り返りを行っています。しかしながら保育所独自の中長期事業計画が未作成です。民間移管されて2年が経過した現在、地域の世帯状況や保護者の要望などの把握に努め、当地域に根差した保育所独自の事業計画書の策定が望まれます。

保育観察／子ども本人聞き取りシート A

保育所名	保土ヶ谷保育園	調査日	2018年12月18日、 12月19日、2019年2月1日	調査機関	(公社)けいしん神奈川
------	---------	-----	----------------------------------	------	-------------

クラス (年齢)	時間帯	保育の様子・子どもの様子
0歳児 ひよこ組	2月1日 15:20～ 15:35	・保育士に数人の子どもが寄り添っています。こんにちはと声をかけると、全員こちらの方を向いて緊張した様子です。しばらくすると普段と同じように思い思いに遊んでいます。1歳半の男の子に動物の形をしたプラスチックの手のひらサイズの模型を指差し、これは何ですかと尋ねると「わんわん」と答え「わんわん」を差し出してくれます。保育士が「わんわんどーこだ」と言うと2、3人の子どもが「わんわん」を取りにいっています。一人の保育士が「〇〇ちゃんズボン下がっているよ、ころぶよ」と声掛けしズボンをあげています。壁には紙で作った赤鬼、青鬼が貼ってあります。保育士が「おには一そと、ふくわーうち」と言いながら、豆に見立てたお手玉を壁に向かって投げると、数人の子どもがにこにこしながらお手玉を上投げで壁に向かって投げています。
1歳児 あひる組	18日9時 19日15: 30～	・朝寒い中、園庭を走り回っています。三輪車で遊ぶ子どもや砂遊びをしてみまごと遊びをしている女の子もいます。みんなそれぞれの興味に合わせて遊んでいます。 ・積み木やブロック遊びでいろんな形を作っていました。2人から3人で共同で家や庭のような作品を作っています。また、男の子がレールを敷いて大きな声を出しながら電車や新幹線を走らせています。脱線した電車を根気よく直しながら頑張っていました。先生はお化けの本を読み聞かせています。先生を取り囲み4～5人の園児が熱心に聞いています。時折、これは〇〇だと興奮気味に叫んでいます。
2歳児 うさぎ組	19日 15:45	部屋にはいると女の子がニコニコしながら寄ってきます。「こんにちは」と声をかけると「こんにちは」という声が返ってきます。数人の女の子が使用不可となった携帯電話で遊んでいます。近づくと「携帯」「携帯」と叫んで見せてくれます。「もしもし」と電話をかけている子どももいます。別のところでは、保育士と女の子がお医者さん遊びをしています。模型の体温計や注射器の使い方を教えてもらっています。注射は痛いですかと声をかけると「痛い、泣いたことがある」と答えてくれます。男の子が黙々とブロック遊びをしています。女の子が寄ってきたので「今日のおやつは何ですか」と聞くと「おにぎり、でもちょっと小さかった」と答えてくれます。

クラス (年齢)	保育の様子・子どもの様子	子ども本人からの聞き取り	
3歳児 ぺんぎん組	19日 11:40～ 15:00～	給食の時間です。今日の献立はカレーうどん、さつま芋の天ぷら、りんごゼリーです。一人ずつ椅子に座って仲良く美味しそうに食べています。何人もの子どもがお代わりをしています。箸を上手に使っています。保育士が「〇〇ちゃん食べようね」と声をかけ、それでも遅い子どもには食べさせています。 戸外遊びでは三輪車、滑り台遊びをしている子、椅子に座って話し合いをしている4人組など思い思いに楽しそうに遊んでいます。数人の男の子が狭い園庭の中を他の子どもとぶつからず上手に三輪車を漕いでいます。	・カレーうどんは好きですか、と聞くと、うん、すきよ、お代わりするよ、と答えていました。またある子は動物園へ行ってきたよ、熊がいたよ、と言うとそれを聞いた隣の女の子が、顔を少しゆがめながらこわいねーと反応しています。
4歳児 ぱんだ組	18日 11:50～	給食の時間です。今日の献立はぶりの照り焼きとほうれん草の納豆あえです。みんな美味しそうに食べています。席に着くと周りの子ども達から何歳ですか、おうちはどこですか、何しに来たのと矢継ぎ早に質問が飛んできます。壁に貼ってある子どもが書いた絵をみて、これは何の絵ですかと聞くと複数の女の子から運動会の絵と大きな声が返ってきます。女の子通しで、あの絵はかけこの絵、あれは「パラバルーン」の絵と思い思いに言っています。	納豆は好きですかと尋ねると、「好き」という子どもの中に「あまり好きじゃない」という声が返ってきます。隣の男の子から「怪獣すき？」と問いかけ、次々に怪獣の名前がでてきます。
5歳児 きりん組	18日 12:00～	・教室にはヒアシンスの球根を各自が栽培しており、水を入れて育成しています。その他、カブトムシの育成、蚕のまゆ成長するまで育成し染色もしています。また、アイロンビーズでいろんな模様を作り、部屋に飾ってありました。 ・昼食時では各自、ご飯やみそ汁を自分でおわんに入れて自分の席へ行き食事をしています。各自、自分のペースがあり、早い子、遅い子、いろいろいますがマイペースで食事を勧めていました。	食事はおいしい？、うんおいしいよ。僕は食事後には午睡しないんだ、もうすぐ小学校に行くから、と答えています。

備考	
----	--

■結果の特徴

アンケート回収率 86.5%

送付数：96

回答数：83

保育園に対する満足度は「満足」、「どちらかといえば満足」を加えると92.8%となっており、満足度は高いです。

園の保育目標・保育方針については、65.9%が「よく知っている」、「まあ知っている」と回答しています。知っている保護者の92.9%がその目標に賛同しています。

とくに満足度の高い項目（「満足」が60%以上）

「遊び」では「クラスの活動や遊び」「こどもが戸外遊びを十分しているか」「園のおもちゃや教材」、「生活」では「給食の献立内容」や「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されている」については満足度が特に高いです。

とくに満足度が低い項目（「満足」が40%以下）

「施設設備」、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」、「年間の保育や行事に、保護者の要望が生かされているかについて」、「年間の保育や行事の説明」については満足度が低いです。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の 保育目標・保育方針 をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらとも いえない	あまり知らない	まったく 知らない	無回答	計
(人)	4	48	14	12	1	0	79
(%)	5.1%	60.8%	17.7%	15.2%	1.3%	0.0%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や 保育方針は賛同できるもの だと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらとも いえない	あまり 共感できない	まったく 共感できない	無回答	計
	36	16	3	1	0	0	56
	64.3%	28.6%	5.4%	1.8%	0.0%	0.0%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方について は	38	22	2	1	19	0	82
	46.3%	26.8%	2.4%	1.2%	23.2%	0.0%	100.0%
	その他 ・園の方針について説明を受け、施設も案内してくれた・上の子どもがいたため行っていません・姉で見学済み・したことが無かった・見学をしなかった・上の子の時市立だったため・わからない・見学はしていない・時間がなく行っていません・見学を希望しなかった・見学に行っていない・二次募集第三希望のため見学をしていない・移行前入園のためわかりません						
入園前の見学や説明など、 園からの情報提供について は	38	30	4	1	9	0	82
	46.3%	36.6%	4.9%	1.2%	11.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・上の兄弟の入園時と細かい点でやり方が変わっているが、入園の葉が配布されるのが遅く準備に戸惑った・特に入手せず・覚えていない・移行前入園のためわかりません・よくわかりません						
園の目標や方針についての 説明については	31	41	3	2	5	0	82
	37.8%	50.0%	3.7%	2.4%	6.1%	0.0%	100.0%
	その他 ・詳しく説明してもらった・よくわからない・覚えていない・移行前入園のためわかりません						
入園時の面接などで、お子 さんの様子や生育歴などを 聞く対応については	35	33	6	2	6	0	82
	42.7%	40.2%	7.3%	2.4%	7.3%	0.0%	100.0%
	その他 入園児には退職してなくなる予定の先生が面接担当だった。できれば実際に子どもを見てくれる先生とお話をしたかった・同じような内容を何度も違う用紙に書かされるので見直して欲しい・覚えていない・移行前入園のためわかりません・移管前・面接などありませんでした						

保育園での1日の過ごし方についての説明には	37	39	2	0	4	0	82
	45.1%	47.6%	2.4%	0.0%	4.9%	0.0%	100.0%
その他 ・覚えていない・移行前入園のためわかりません							
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	35	39	3	2	3	0	82
	42.7%	47.6%	3.7%	2.4%	3.7%	0.0%	100.0%
その他 ・最終ページへ・お兄ちゃんの時(7年前)から聞いてないので変わっていくことの説明がないので驚きである・特にそのような説明はなかった							

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	27	44	7	2	2	0	82
	32.9%	53.7%	8.5%	2.4%	2.4%	0.0%	100.0%
その他 ・覚えていない・移行前入園のためわかりません							
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	21	46	6	2	7	0	82
	25.6%	56.1%	7.3%	2.4%	8.5%	0.0%	100.0%
その他 ・わからない・よくわかりません・まだ年間を通して経験していません・保護者が要望を伝えていない							

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	55	25	0	0	2	0	82
	67.1%	30.5%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	100.0%
その他 ・子どもが活動に上手に参加できていないのでわかりません・当室、戸外遊びや制作等子どもの中にはとても楽しいと思うが、同じ学齢でもその年によりプラスαの遊びにかなり差があるように感じる							
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	53	26	1	2	0	0	82
	64.6%	31.7%	1.2%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・毎日午前中1時間のみ、午後も1時間欲しい							
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	51	30	1	0	0	0	82
	62.2%	36.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	43	34	2	1	2	0	82
	52.4%	41.5%	2.4%	1.2%	2.4%	0.0%	100.0%
その他 ・まだ1歳児なのでわからない							
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	45	33	3	0	1	0	82
	54.9%	40.2%	3.7%	0.0%	1.2%	0.0%	100.0%
その他 ・他の保護者の方と余り関わっていないので							

遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	45	32	2	2	1	0	82
	54.9%	39.0%	2.4%	2.4%	1.2%	0.0%	100.0%
	その他 ・よくわからない						

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	56	22	2	0	1	0	81
	69.1%	27.2%	2.5%	0.0%	1.2%	0.0%	100.0%
	その他 ・最近生の果実が以前に比べ減っている						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	46	30	3	1	1	0	81
	56.8%	37.0%	3.7%	1.2%	1.2%	0.0%	100.0%
	その他 ・楽しんでいるかについてわからない						
基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	48	30	4	0	0	0	82
	58.5%	36.6%	4.9%	0.0%	0.0%		100.0%
	その他						
屋寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	50	26	4	2	0	0	82
	61.0%	31.7%	4.9%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・公園に向かう途中で腹痛があり、お友達が先生に伝えてくれたそうですが、大丈夫と言って公園まで行かされ、その後もずっと腹痛があったのに耐えていたそうです。その晩発熱して嘔吐があった。						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	38	30	7	0	7	0	82
	46.3%	36.6%	8.5%	0.0%	8.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・まだです・まだトレーニングの月例ではない・まだおむつはずしの年齢ではない・まだなので不明です ・まだ小さいので始めていない・おむつはずしは2歳から必要ないから・非該当です						
お子さんの体調への気配りについては	42	37	2	1	0	0	82
	51.2%	45.1%	2.4%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 ・こちらが例えば咳や腹痛があると朝伝えても「元気に遊んでいたのが全然大丈夫そうでした」の一言。心配していないのは分かるし、大丈夫なレベルかも知れないが、言い方があるだろと思ってしまう						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	41	29	7	4	1	0	82
	50.0%	35.4%	8.5%	4.9%	1.2%	0.0%	100.0%
	その他 ・0歳児で血がでるくらいの噛み傷ができたが、謝罪はあったが説明が少なかった・小さな傷でも説明してくれてありがとうございます						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	17	31	25	7	2	0	82
	20.7%	37.8%	30.5%	8.5%	2.4%	0.0%	100.0%
	その他 ・先生方のせいではないが建物が古すぎる。床が沈む。ささくれが足に刺さることがあった・建物は古くて狭い ・かなり古い建物なので耐震が心配 ・老朽化が心配						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	33	41	7	1	0	0	82
	40.2%	50.0%	8.5%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	20	40	18	2	1	0	81
	24.7%	49.4%	22.2%	2.5%	1.2%	0.0%	100.0%
	その他 ・万全ではないと感じる・侵入できる隙間はありそう・送迎時で門の開閉で親同士の声掛けが不十分で開けっ放しの時がある。						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	29	42	8	2	1	0	82
	35.4%	51.2%	9.8%	2.4%	1.2%	0.0%	100.0%
	その他 ・指示はあるが、それが最近の情報なのかわからないことがある。						

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	33	42	6	1	0	0	82
	40.2%	51.2%	7.3%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	39	38	5	0	0	0	82
	47.6%	46.3%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	39	39	4	0	0	0	82
	47.6%	47.6%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	37	32	10	1	2	0	82
	45.1%	39.0%	12.2%	1.2%	2.4%	0.0%	100.0%
	その他 ・父母が迎えに行った時の情報量が異なるのは気になる・給食やおやつを残食を教えて欲しい ・先生によってはその気がない						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	35	37	5	1	4	0	82
	42.7%	45.1%	6.1%	1.2%	4.9%	0.0%	100.0%
	その他 ・よくわからない・重要な情報とは具体的に何か						

保護者からの相談事への対応には	39	32	4	2	4	0	81
	48.1%	39.5%	4.9%	2.5%	4.9%	0.0%	100.0%
その他 ・一人ひとりの先生は優しいが、職員通しの情報共有がうまく伝わっていないように感じることもある。 ・まだ相談をあまりした事がないです・先生によるかと思えます・分からない、利用なし							
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	39	34	3	2	4	0	82
	47.6%	41.5%	3.7%	2.4%	4.9%	0.0%	100.0%
その他 ・特に遅くなったことはない・時間をすぎたことがない・分からない、利用なし							

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	47	30	4	1	0	0	82
	57.3%	36.6%	4.9%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	52	27	3	0	0	0	82
	63.4%	32.9%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	28	34	5	0	13	0	80
	35.0%	42.5%	6.3%	0.0%	16.3%	0.0%	100.0%
その他 ・わからない・今のところアレルギーはない・対象でないので不明です。実際に自分の子にはないので不明・該当しないため詳細がわかりません・ないのでわかりません・アレルギー障害がないので良くわかりません・うちの子は障害等は特になから							
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	45	27	8	2	0	0	82
	54.9%	32.9%	9.8%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
意見や要望への対応については	37	38	4	3	0	0	82
	45.1%	46.3%	4.9%	3.7%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	43	34	4	1	1		83
	51.8%	41.0%	4.8%	1.2%	1.2%		100.0%

利用者アンケート集計結果（グラフ表示）

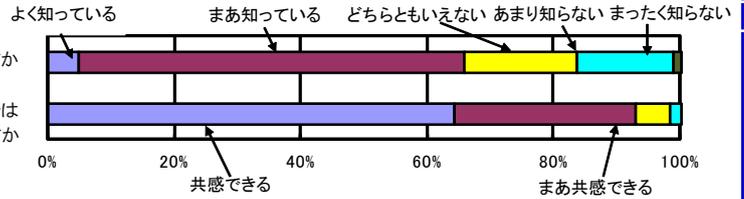
調査対象保育園： 保土ヶ谷保育園

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

見学の受け入れ方については

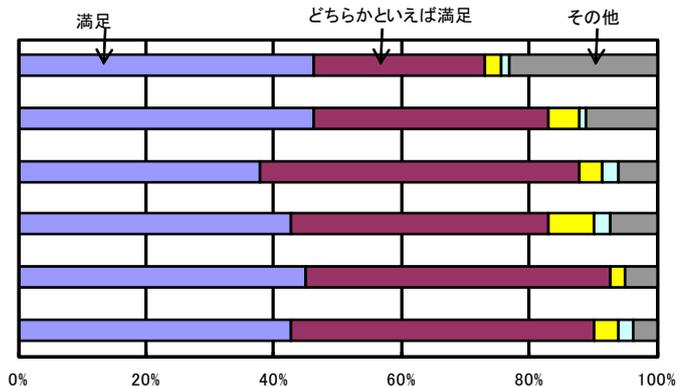
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については

園の目標や方針についての説明には

入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については

保育園での1日の過ごし方についての説明には

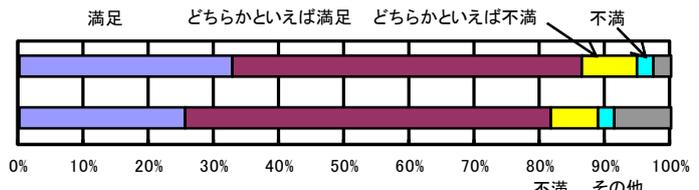
費用やきまりに関する説明については
(入園後に食い違いがなかったかを含めて)



問3 保育や行事の年間計画について

年間の保育や行事についての説明には

年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては



問4 日常の保育内容について

「遊び」について

クラスの活動や遊びについては
(お子さんが満足しているかなど)

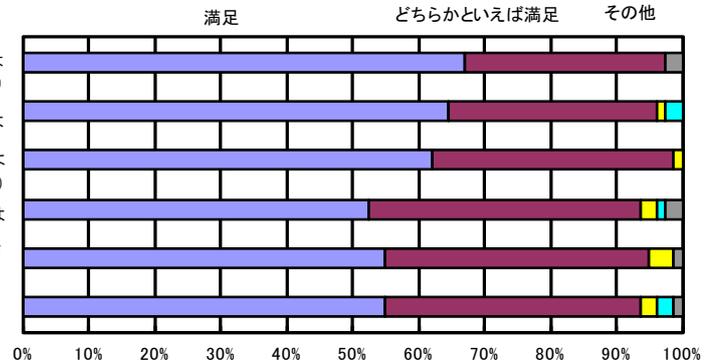
子どもが戸外遊びを十分しているかについては

園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)

自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については

遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては

遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては



「生活」について

給食の献立内容については

お子さんが給食を楽しんでいるかについては

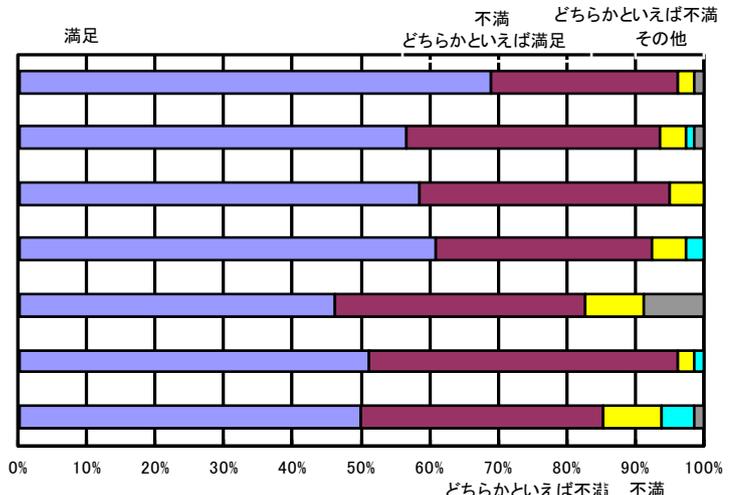
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては

昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては

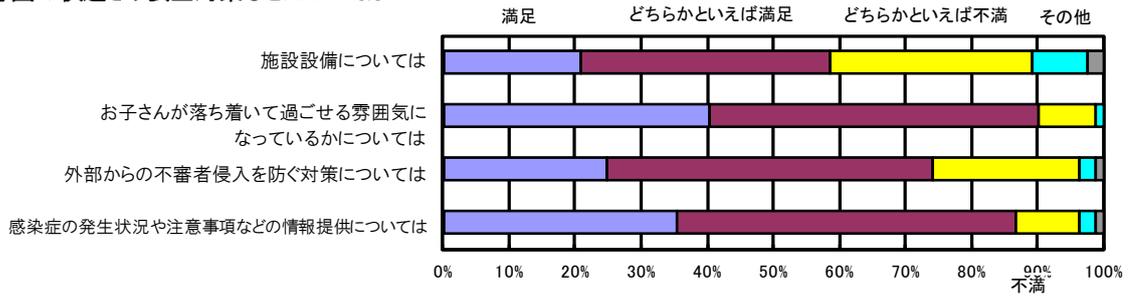
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては

お子さんの体調への気配りについては

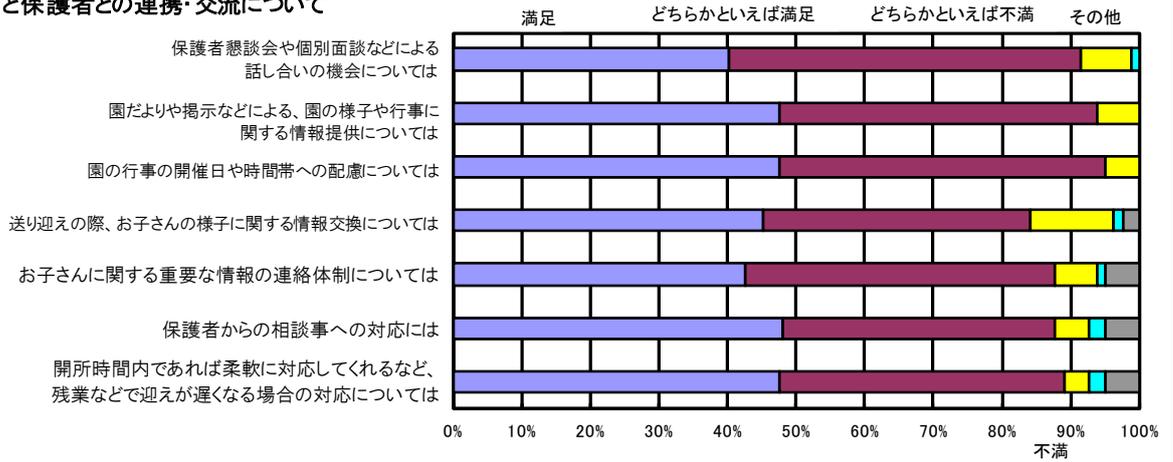
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には



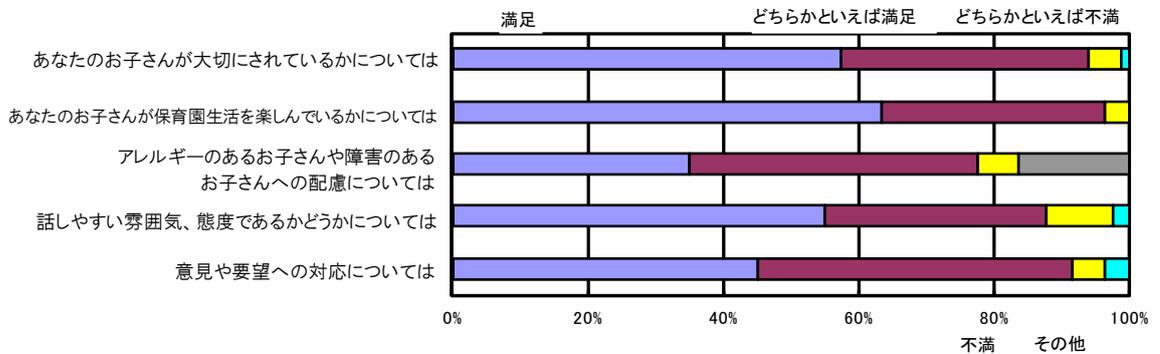
問5 保育園の快適さや安全対策などについては



問6 園と保護者との連携・交流について



問7 職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか



社会福祉法人尚徳福祉会として

【保育理念】

- 一人一人が人として大切にされる
- 将来に向けて現在をもっとよく過ごす
- より良い環境の中で育てられる

【園目標】

- 保育園が好き
- あいさつをしよう
- なんでもやってみよう

保土ヶ谷保育園の評価結果の“まとめ”

アンケート結果より
保護者の総合的な満足度は高い
(92.8%)

○日常の保育内容について満足度は高くでています。

○お子さんが保育園生活を楽しんで保育園に行っています。

【保育姿勢】

○子どもが安心して自分を表現できる環境を整え、さまざまな体験や人とのかかわりを大切にする。

○保育園と家庭との連携を大切にし、伝え合い、話し合いながら、個人差をふまえた発達を保障していく。

事業者コメント

民間移管から3年目を迎えたタイミングで、第三者評価を受けたことは、今までの保育の見直しや、法人として、まだ努力をしていかなければいけない点などを、再確認するいい機会となりました。また、職員全員で取り組んだことで、様々な点において、みんなで意識を深め、理解し合えることができました。

この経験を大切に、今後の保育、法人としての取り組みに役立てていきたいと思えます。

保土ヶ谷保育園

園長 大日方 直美